

朝日地区

朝日地区の上水道事業は昭和49年10月1日に供用開始され、その後の区域拡張や給水量の増加に伴って昭和54年、60年、平成元年、平成9年及び平成11年に変更認可を受け、現在計画給水人口を9,900人、計画給水量を4,170 m³/日にて運営しているところであります。

施設面では、平成11年に猿沢水源、猿沢浄水場及び配水池の整備により、計画給水量に対し約50%の水源取水が可能となり、施設設計指針の12時間分の配水池容量も確保された。また、近年下水道事業に併せて老朽管更新も進め、石綿管は全て更新され、一部を除き概ね老朽管更新は終了し安定供給体制が確立しています。

〔水源・配水施設〕

右上の写真は、朝日岩沢浄水場(S48)です。写真右の円筒形の建物はPH調整設備です。右側が操作室です。

この他に水源が敷地内にあります。

右下の写真は、朝日猿沢上水場(H12)です。写真奥の円筒形の建物はPH調整設備です。

この他に猿沢地内に水源があります。



左の写真は、朝日中野配水池(H14)で、岩沢浄水場から送水されます。ステンレス製で緊急遮断弁が整備され、耐震化対応済です。

右の写真は、朝日猿沢配水池(H12)で、猿沢浄水場から送水されます。ステンレス製で緊急遮断弁が整備され、耐震化対応済です。

この他、朝日早稲田低区配水池(H15)朝日荒沢配水池(H8)、朝日笹平増圧ポンプ施設(H9)、塩野町増圧ポンプ施設(S55)、予備施設として関口浄水場があります。(早稲田低区配水池が整備され現在は未稼働です)

